



2026年9月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社トップス 上場取引所 東
コード番号 243A URL <https://www.akasaka-tops.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）箱崎 英次
問合せ先責任者（役職名）執行役員管理本部副本部長（氏名）肥田 直樹 TEL 03 (5570) 3448
中間発行情報提出予定日 2026年6月29日 配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無：無
中間決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期中間期の業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年同期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	2,135	6.8	110	△28.5	107	△31.3	59	△45.6
2025年9月期中間期	1,999	△0.6	154	△33.0	156	△32.1	109	△43.8

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	28.70	27.69
2025年9月期中間期	53.99	51.42

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年9月期中間期	2,978	1,939	65.1	927.76
2025年9月期	2,845	1,864	65.5	909.59

（参考）自己資本 2026年9月期中間期 1,939百万円 2025年9月期 1,864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	0.00	4.00	4.00
2026年9月期	0.00		
2026年9月期（予想）		—	—

- （注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 当社は定款において中間期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,023	16.0	82	△19.6	75	△27.2	43	△61.4	20.64

- （注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
2. 2025年10月1日から2026年5月14日までになされた新株予約権の行使により、40,800株の新株発行を行っております。2026年9月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、株式数の増加を反映して算定しております。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期中間期	2,090,200株	2025年9月期	2,049,400株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	一株	2025年9月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年9月期中間期	2,074,731株	2025年9月期中間期	2,028,765株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善、設備投資の持ち直し等により緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、エネルギーコストや原材料の価格上昇は依然として継続し、中東情勢の影響や米国の通商政策をめぐる動向もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても、インバウンド消費の拡大や雇用・所得環境の改善等により需要は回復基調にあるものの、原材料価格の高止まり、物流費・光熱費の上昇、人手不足の深刻化など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社では以下のような取り組みを行ってまいりました。

①新規出店と不採算店の退店

当中間会計期間におきまして、新規の出店ならびに不採算店舗の退店はありませんでした。

出退店にあたっては慎重に検討して収益力の強化に努めてまいります。

②商品開発並びに監修商品への取り組み

コンビニエンスストアにおいて、デザートやベーカリーを中心とした監修商品が発売され、ご好評をいただきました。

業容の拡大には事業基盤の安定化と当社ブランドの認知度拡大の両立が必要であると認識しており、引き続き他企業とのコラボレーション企画や商品監修に取り組んでまいります。

③適時な販促活動と季節商品の投入

当中間会計期間におきまして、季節限定商品や数量限定商品を発売し、お客様からご好評をいただきました。これらの限定商品の継続的な投入を通じて、既存のお客様の来店頻度を高めるとともに、新規顧客層の獲得にも力を入れております。今後もお客様の期待に応える新たな商品提案を行い、より一層のブランド価値向上を目指してまいります。

④ECサイトの強化

ロングセラー商品の焼菓子やチョコレートケーキアイスに加え、新たに限定商品の取り扱いも開始する等、商品ラインナップの拡充を図ってまいりました。

⑤土浦工場の稼働

お客様からの多様なニーズへの対応と、より一層の安全・安心な商品の提供、生産の効率化への取り組みとして建設をすすめておりました土浦工場が2025年10月に稼働し、洋生菓子の半製品工程を目黒工場から土浦工場に移設完了いたしました。現在、製造委託商品の内製化を推進しており、収益性の改善ならびに価格競争力の強化に努めてまいります。

以上の結果、当中間会計期間における売上高は2,135百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は110百万円(前年同期比28.5%減)、経常利益は107百万円(前年同期比31.3%減)、中間純利益は59百万円(前年同期比45.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末における流動資産は、前事業年度末より184百万円増加し、1,212百万円となりました。これは主に、現金及び預金が67百万円、売掛金が111百万円、未収入金が10百万円増加し、仕掛金が17百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前事業年度末より51百万円減少し、1,765百万円となりました。これは主に、有形固定資産のその他に含まれる機械及び装置が12百万円、リース資産が14百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、資産合計は、前事業年度末より133百万円増加し、2,978百万円となりました。

(負債)

当中間会計期間末における流動負債は、前事業年度末より102百万円増加し、433百万円となりました。これは主に、資産除去債務が18百万円、未払法人税等が30百万円、未払消費税等が49百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は前事業年度末より44百万円減少し、605百万円となりました。これは主に、長期借入金が19百万円、資産除去債務が18百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末より57百万円増加し、1,038百万円となりました。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産は、前事業年度末より75百万円増加し、1,939百万円となりました。これは主に、中間純利益59百万円を計上したことに加え、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金に含まれる資本準備金がそれぞれ11百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前中間会計期間に比べて23百万円増加し、651百万円になりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、92百万円(前年同期は88百万円の獲得)となりました。これは主に、税引前中間純利益100百万円、減価償却費56百万円、売上債権の増加額111百万円、未払消費税等の増加額49百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、4百万円(前年同期は438百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、19百万円(前年同期は17百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出19百万円、リース債務の返済による支出15百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入23百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2026年9月期(2025年10月1日～2026年9月30日)の通期業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当中間会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	584,051	651,938
売掛金	236,108	347,116
商品及び製品	24,155	29,158
仕掛品	49,779	32,447
原材料及び貯蔵品	32,877	40,758
前払費用	19,233	19,278
前渡金	159	159
未収入金	80,155	90,964
その他	1,853	898
流動資産合計	1,028,374	1,212,719
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	294,961	289,850
土地	744,960	744,960
その他(純額)	684,505	641,249
有形固定資産合計	1,724,427	1,676,060
無形固定資産	7,946	7,002
投資その他の資産	84,348	82,371
固定資産合計	1,816,722	1,765,433
資産合計	2,845,096	2,978,153

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当中間会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	97,262	102,862
未払金	48,036	47,615
未払費用	92,092	92,652
預り金	18,280	18,097
1年以内返済予定の長期借入金	39,984	39,984
リース債務	23,124	24,074
資産除去債務	—	18,419
未払法人税等	8,636	39,355
未払消費税等	—	49,265
未払事業所税	2,593	—
その他	934	687
流動負債合計	330,944	433,013
固定負債		
退職給付引当金	29,019	26,432
リース債務	215,595	212,491
資産除去債務	37,934	19,515
預り保証金	6,000	6,000
長期借入金	351,686	331,694
その他	9,802	9,802
固定負債合計	650,037	605,934
負債合計	980,982	1,038,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,538	36,438
資本剰余金	142,885	154,785
利益剰余金	1,694,414	1,745,752
株主資本合計	1,861,838	1,936,976
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,275	2,228
評価・換算差額等合計	2,275	2,228
純資産合計	1,864,114	1,939,204
負債純資産合計	2,845,096	2,978,153

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,999,715	2,135,363
売上原価	866,473	999,123
売上総利益	1,133,242	1,136,239
販売費及び一般管理費	978,779	1,025,726
営業利益	154,462	110,513
営業外収益		
受取利息	18	48
受取配当金	27	35
助成金収入	4,254	1,379
保険解約金	792	—
その他	208	291
営業外収益合計	5,300	1,754
営業外費用		
支払利息	—	4,835
商品廃棄損	822	128
店舗閉鎖損失	2,622	—
その他	82	—
営業外費用合計	3,528	4,964
経常利益	156,234	107,303
特別損失		
減損損失	2,313	6,477
特別損失合計	2,313	6,477
税引前中間純利益	153,920	100,826
法人税、住民税及び事業税	31,736	39,367
法人税等調整額	12,646	1,923
法人税等合計	44,383	41,291
中間純利益	109,537	59,534

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	153,920	100,826
減価償却費	11,498	56,911
敷金償却額	738	490
長期前払費用償却	785	767
減損損失	2,313	6,477
退職給付引当金の増減額(△は減少)	769	△2,587
受取利息及び受取配当金	△45	△83
支払利息	—	4,835
売上債権の増減額(△は増加)	△102,878	△111,007
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,459	4,449
未収入金の増減額(△は増加)	1,133	△10,808
その他の資産の増減額(△は増加)	5,433	483
仕入債務の増減額(△は減少)	19,418	5,600
未払金の増減額(△は減少)	△21,799	△462
未払費用の増減額(△は減少)	26,946	560
預り金の増減額(△は減少)	332	△182
未払消費税等の増減額(△は減少)	792	49,265
その他の負債の増減額(△は減少)	△2,646	△2,811
小計	95,253	102,723
利息及び配当金の受取額	42	78
利息の支払額	—	△1,950
法人税等の支払額	△6,450	△8,636
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,845	92,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△428,964	△3,808
資産除去債務の履行による支出	△1,496	—
無形固定資産の取得による支出	△8,364	—
敷金及び保証金の差入による支出	△3,000	△820
敷金及び保証金の回収による収入	2,931	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△438,893	△4,628
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△19,992
リース債務の返済による支出	△1,679	△15,309
配当金の支払額	△10,000	△8,197
新株予約権の行使による株式の発行による収入	29,077	23,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,397	△19,699
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△332,650	67,887
現金及び現金同等物の期首残高	960,782	584,051
現金及び現金同等物の中間期末残高	628,131	651,938

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、洋生菓子の製造販売並びにこれら附帯業務の単一事業であります。したがって、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。